

春 風 致 和



(書は、昭和61年、社会福祉法人永光会が法人認可の年に初代理事長眞下玄永が揮毫したもの)

意 味 : 人に寛なる対応で、和を作り出しましょう

[解説] 春 風

新風とは「春風接人秋霜律己」を指す「春風のような暖かさと柔らかさを以って人に対応し、秋霜のような厳しさを以って自分自身を律(規正)していくこの精神こそが「福祉人」としての基本である

和

組織人としての「和」とは、「個人の意見を尊重しつつ、偏らないオープンな議論をし、いったん決断に至れば、共通の目標に向かって全員一致協力すること」である